○　件名
地理的表示メールマガジン第202号（令和6年2月14日）

○　文面

◇◇◇

　通常、３月に種まきが始まり、４月に定植、６月下旬～８上旬に収穫を迎えるそうです。

第143号：備前黒皮かぼちゃ：農林水産省（maff.go.jp）
　https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/register/0143/index.html

---

３．GIを含む【知財ブランド】に関する研究資料が公開（農林水産政策研究所）

　2024年1月に農林水産政策研究所から「食料プロジェクト【知財ブランド】研究資料　第1号」が発行されました。
　本研究では、GIを含めた地域ブランドに関する研究を行っており、GI産地のブランド化の取組、世帯年収別のGI、有機等への購入動向、GIの認知度等を調査・分析しています。
　GI制度の認知度については、2019年12月から2020年1月に実施された農林水産政策研究所の調査では7.2%であったが、2022年1月に実施された本調査では、14.4%と少し高くなっています。
※サンプルの抽出・調査方法等に違いがあるため、単純比較ではありません。
　他にもGIに関する記事が多数掲載されていますので、ご関心のある方は下記リンクよりご確認ください。

食料プロジェクト【知財ブランド】研究資料 第1号：農林水産政策研究所
　https://www.maff.go.jp/primaff/kanko/project/R05syokuryo01.html

---

（編集後記）GIについて学ぼう
　このキーワードでインターネット検索すると、最初にヒットする内容は何になると思いますか？
　答は、食後血糖値の上昇を示す指標「グライセミック・インデックス（Glycemic Index、以下「GI」という。）」を紹介している製薬会社のサイトで、ここでのGIは「食品に含まれる糖質の吸収度合いを示す」ものになります。
　2003年にWHO（世界保健機関）から「過体重、肥満、2型糖尿病の発症リスクを、低GI食品が低減させる可能性がある」というレポートが出されたことを受け、現代人に急増しつつある肥満やメタボリックシンドロームの予防・改善の観点から、各食品メーカーは、食物繊維が多くエネルギー密度が少ない、GIの低い食品の商品開発を行っているところです。
　我々も、このキーワードに負けないよう、農林水産物等の地理的表示（GI）の知名度を、様々な機会を通してPRしていきたいと思います。（S）

※編集後記は地理的表示（GI）担当職員の個人的な雑感を述べたものであり、農林水産省の見解を示すものではありません。

GIGIGIG

https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html

GIGIGIG